



2024年度 3 学年通信

「疾風勁草(しっふうけいそう)」

甲府東高等学校
2024. 4. 26(金)
第2号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

環境が「変わる」ことをどう捉えるか

学年主任 遠藤祐也

新学期が始まって3週目。新しいクラスには慣れましたか?とはいっても2年生で文理に分かれているので、“こちんまり”のクラス替えかとは思いますが。それでも始業式でのクラス担任発表や新クラス移動時の君たちの反応を見ていると、担任や級友が変わるのは大きなイベントなのだ実感しました。クラス替えのない6組さんはどんな風に見てましたか?(それはそれで苦勞もあることを私は理解しています)

環境が変わる、というのは大きなストレス因子ですね。特に仲良しと離れてしまった生徒はショックを受けていることと思います。その気持ちはもちろんわかるのですが、おそらく時間が少しずつネガティブな気持ちを変えてくれると思います。居心地が悪いながらも、こんなものかなと思っている人は徐々に居心地が変わっていく、その変化を楽しんでほしいです。変化に辛い思いをしている人、学校に行くのが億劫だなあと思っている人、ぜひ私の所へ来てほしいなと思います。話を聞かせてください。

先月末、この学年の屋台骨を支えてくれた古川順子先生が文科省へ異動されました。生徒がいない、授業がない状況の中でやったことのない仕事を人間関係がまだない人とする、「ないないづくし」の環境はさぞかしストレスフルだと思いますが、そんな環境の中、古川先生はどんなふうに過ごしているのでしょうか。今年度の学年通信では不定期で「フルジュンの霞ヶ関だより」と題して、近況報告をしてもらいます。新しい環境で変化と向き合う、そんな古川先生の様子をお便りから感じてほしいなと思います。

フルジュンの霞ヶ関だより



皆さんこんにちは。文科省研修中の古川です。遠藤丸の特派員として、皆さんにお便りを届ける機会を遠藤先生が下さいましたので、こちらの様子を、小さなサテライト船から不定期便でお送りします。

東京へ来て3週間が経ちます。が、まだまだ仕事には慣れません。初めてのことばかりで、まず使われていることばの意味を理解するところから物事が始まります。研修もたくさんあるので、最初の1週間は新しい情報で頭が飽和状態でした。いい大人なのに失敗もたくさんしました。高校に入学した頃の皆さんもこんな感じだったのかな、大変だっただろうな、と想像して、私も「がんばろう」と思いつつ過ごしました。

それでも少しずつ、今の職場のことが見えてくると、国の中枢にいるということは、時代の最先端に触れているということだ、という実感を持ちはじめます。日々の仕事の中で、これからの学校のこと・授業のあり方などを、さまざまな刺激と教えを受けながら考えられることは、私にとってとても幸せなことです。この貴重な機会は本当にありがたい。山梨の皆さんに(あるいは皆さんの後輩たちに)ここでの成果をきっと持ち帰らなくては、と強く思っている4月です。

もうすぐゴールデンウィーク。4月を息つく間もなく走ってきた皆さんも、少しはほっとできる時間が取れるでしょうか。定期演奏会もありますね。私も帰省して、元気な皆さんに会えるといいなと願っています。お互い元気に過ごしましょう!ではまた!

悔いのない1年に

1組担任 丸尾晃司

学年通信トップバッターの筆耕で、何を書こうか考える時間がありませんでしたが、昨年度の3年生の担任の経験を学年全員へ伝えたいと思います。

ご存じの人が多いとは思いますが、私は昨年度、3年生の理系の担任を務めました。自分のクラスの授業を担当できなかったため、普段の声掛けや二者懇談を丁寧に行うよう心掛けました。その中で、翌年から新課程入試へ移行し、第一志望への進学が実現しなかったとき、浪人することが不利になるのではという心配をする生徒が多くいました。7月の三者懇談で浪人について聞いたところ、「浪人してでも第一志望を目指したい」という生徒は40人のうち2人しかいませんでした。新課程入試1年目となる皆さんは、今どのように考えているのでしょうか。もちろん、今から「浪人」を前提に進路について考えるべきではないと思います。しかし、1・2年次で進路について考え、学んできた皆さんであっても、新教科「情報」の試験など新しいことに戸惑うことやうまくいかないことがこの1年間で多々あると思います。その時、皆さんにできなかったこと、うまくいかなかったことを後悔することのない1年にしてほしいと思っています。

私のクラスの生徒で、最終的に浪人することになったのは6人です。生徒のほとんどは後悔の念に駆られていました。「早く勉強を始めればよかった」、「夏休みに頑張り切れなかった」。今まで皆さんも先輩や先生から聞いたことがある言葉でしょう。浪人した私の生徒たちもこの言葉は聞いたことがあったはずですが、もできなかったというのが事実です。私も含め、人間には弱い部分があります。私自身も同じような経験をしてきました。この話をしても、同じ後悔をする生徒が出てしまうかもしれません。しかし、時間は有限です。浪人生活を送ることで、忍耐力や知識など得られるものもたくさんあると思いますが、社会に出るのが1年間遅くなる、または少なくなることも解釈できます。だから、悔いのある浪人はみんなにしてほしくない。

最後にまとめると、「やるべきことをやって、全部出し尽くしたけど届かなかった、だから再挑戦する！」そのような気持ちで、進路のことに限らず、何事にも前向きに考えられる取り組みを期待しています。

5月の主な行事予定

- 5月 1日 (水) 第1回バイク通学者説明会(放課後)
- 2日 (木) ④⑤⑥第1回生徒総会・壮行会
- 7日 (火) ④～ 総体準備
- 8日 (水) 高校総体(一般生徒:応援)～10日(金)
(本校:男子バレーボール競技会場)
- 9日 (木) ①～③特編授業
- 13日 (月) 第1回小論文模試
- 14日 (火) 第1回定期試験時間割発表、学習強化週間～20日(月)
- 15日 (水) 登校時マナーアップ運動
- 17日 (金) ⑤交通講話(全学年)
- 20日 (月) ⑥キャリアオリエンテーション
- 21日 (火) 第1回定期試験～24日(金)
- 27日 (水) 生徒休業日
- 28日 (火) 学園祭準備期間～6/18(火)

進路指導係より

(簡単ではありますが…)

受験方法の種類



学校推薦型選抜

- ① 特徴は「**評定基準**」「**推薦書**」
- ② 学業・探究・部活動などの実績を
ふまえ、校長が推薦
- ③ 「公募」と「指定校」の2種類
※ 学力検査のない指定校制は廃止



総合型選抜

- ① 以前の**AO入試**（人物入試、一芸入試）を厳しくし**学力検査を必須化**。
- ② 「評定基準」はない場合も。先生が書く「推薦書」は不要。
- ③ 学業・探究・部活動などを問うのは共通だが、**学問への熱意も重視**。

一般選抜

- ① 学力検査一発
- ② 例えば私大文系なら英国社か英数国が主流
- ③ 思考力を問う問題が増加
※ 一部で簡単な書類あり

生徒が書く書類（資料）
志望理由書、自己PR、活動報告書、学修計画等の採用率がかなり高い
学力検査
小論文、口頭試問、プレゼン、資格検定成績、学科試験等必ず採用

これに調査書、推薦書（学校型のみ）、面接が加わるのが基本

進路資料室の利用について

進路指導係

進路資料室には、赤本や大学等のパンフレットなど、進路に関する資料があります。以下のように解放しますので、積極的に活用しましょう。

利用時間（月）～（金）[土日は不可] ※会議等で利用できない時もあります。

- + 資料等の貸出は許可をとってください。（貸出方法は以下を参照）
- + 飲食はできません。
- + 進路資料室内での学習はできません。閲覧用のスペースです。

以上のマナーを守って利用してください。

赤本・青本（大学別問題集）等の貸出について

- * 2024年度までのものは一人**1回につき2冊まで**貸出可能です。
貸出期間は**一週間以内**です。
- * **2025年版は貸出禁止**です。（コピーのための一時貸し出しは可）

【借りるとき】（**昼休み・放課後のみ**※緊急時を除く）

